（様式１）

事実婚関係に関する申立書（補償金請求用）

１　婚姻の意思を有し、夫婦として共同生活を営んでいたことについての申立

　下記①の者と下記②の者は、戸籍上の婚姻関係にはありませんが、当時婚姻の意思があり、③の期間において、夫婦としての共同生活を営んでいました。

①氏名　　　　　　　　　　住所

②氏名　　　　　　　　　　住所

③明治・大正・昭和・平成　　年　　月　　日・頃

～　明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在　　年　　月　　日・頃

２　同居についての申立

　　上記①の者と上記②の者は、次の期間において、同居していました。

明治・大正・昭和・平成　　年　　月　　日・頃

～　明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在　　年　　月　　日・頃

＜同居が短期間であった理由（同居が１年未満であった場合のみ）＞

３　別居についての申立

上記①の者と上記②の者は、夫婦としての共同生活を営んでいた期間のうち、次の期間においては、別居していましたが、その理由は次のとおりです。

明治・大正・昭和・平成　　年　　月　　日・頃

～　明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在　　年　　月　　日・頃

＜上記期間に別居していた理由＞

（次ページにお進みください）

４　第三者による証言

＜証言１＞

（※該当する証言にチェック）

　□ 同居に関する証言　□ 婚姻の意思に関する証言　□ 別居の理由に関する証言

　□ 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

　上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

氏名　　　　　　　　　　住所

＜証言２＞

（※該当する証言にチェック）

　□ 同居に関する証言　□ 婚姻の意思に関する証言　□ 別居の理由に関する証言

　□ 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

氏名　　　　　　　　　　住所

＜証言３＞

（※該当する証言にチェック）

　□ 同居に関する証言　□ 婚姻の意思に関する証言　□ 別居の理由に関する証言

　□ 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

氏名　　　　　　　　　　住所

＜証言４＞

（※該当する証言にチェック）

　□ 同居に関する証言　□ 婚姻の意思に関する証言　□ 別居の理由に関する証言

　□ 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

氏名　　　　　　　　　　住所

５　備考（補足説明したい事項がある場合のみ、記載してください。）